

私たち市民が助け合い安心して暮らせる社会をめざしています

# たすけあい通信



令和7年・通算106号

認定NPO法人 東灘地域助け合いネットワーク 078-843-4029/843-4446 (FAX)842-2907

## 立退きによる移転問題の経過報告 来年も旨水館で活動します

理事長 村山メイ子

阪神電鉄が2027年3月末までに耐震補強工事を完了させるために、旨水館に立ち退き問題が持ち上がり、皆様にはご心配・ご迷惑をおかけしております。

現在は神戸地裁関与のもと、阪神電鉄及び御影市場の双方が納得できる方向に進むよう協議が続いています。旨水館側は耐震補強工事完了後も、引き続き営業が継続できるよう要望を出しておりますが、合意できるかまだわかりません。

当法人もこの問題以来、阪神御影駅周辺の拠点探しに奔走して参りましたが、現行の広さ(約400m<sup>2</sup>)と財源に見合う物件は見つかりませんでした。そこで前号の通信でお伝えした通り、旨水館と共に裁判の行く末を見守ることに決めました。

当法人の利用者さんや支援者さんの大半が阪神御影駅周辺の方々、または阪神御影だから電車・バスを利用して来られている方々で、現時点では拠点を遠くに移すことには考えていません。

12月1日、御影公会堂に於いて阪神電鉄の説明会がありました。電鉄側と旨水館側の店子の話し合いは今回が初めてで、ようやく念願が叶いました。しかし、電鉄側は、耐震補強工事の必要性や工法の説明に長く時間を割き、旨水館側の要望には触れず温度差を感じました。

旨水館側は再度の説明会を要望しています。  
今後も話し合いを重ね、現在の窮地が新たなチャンスに展開することを期待しています。

結果が出るまで後しばらく見守って頂きますよう、お願ひいたします。

急ピッチで工事が進む阪神電鉄御影駅周辺の高架下  
2025年11月27日撮影



裁判の経緯 「阪神電鉄の言い分」

阪神側の言い分 2022年10月  
「一坪〇〇万円で出て行か。  
この金額を受け入山しない場合 は裁判となり  
あなた達負けます!!」と言わん  
「2023年6月30日までに返事して下さい」  
と言わん  
市場としては、「こんな大事な決断を下した  
8ヶ月で決める事はできません!!」と  
2023年6月30日に返事をしてしまった。  
阪神側は、「強気です、裁判になります。」  
との返事がありまし  
す。 かつ今年1月26日から裁判が始まりました。  
なぜ訴い合ひに応じないかは、私達にもわかりません!!  
何年前から現地説明会を開き市場と訴い合ひ  
をするのが一般常識だと私達は思います。

御影市場 理事長

# 食料支援の目的と継続支援の必要性

スタッフ 濱野 直子

助け合いネットの食料支援は、神戸市福祉局くらし支援課の助成を受け、神戸市在住で経済的にお困りの方を対象に、令和5年から毎月5日間（指定日以外も応相談）実施しています。

食料支援の一番の目的は、お困りの方に食料を提供し、お困り事に対応できる情報を届けることです。それと同時に、生活保護などの公的な支援につながっていない人を適切な支援につなげ、仕事を探している方にはハローワークなどの就労支援につなげる、という目的もあります。

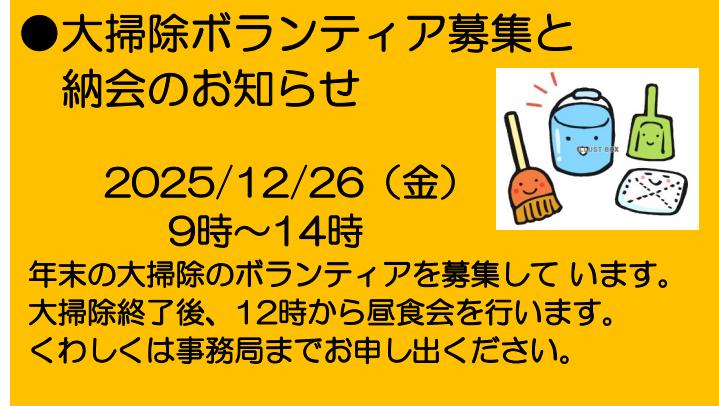
食料支援を2年以上続ける中で、当団体の活動が広く知られ、区役所のケースワーカーや地域包括支援センターのケアマネージャーからの相談が増え、生活保護を受けていても突発的な事情で一時的に生活ができなくなった方への支援や、低年金の方への支援が相次ぎようになりました。

すでに公的制度を利用している方もおられ、食料支援の目的のひとつ「公的支援につなぐ」という目的には該当しない方もいますが、低年金の方や、障がい、病気などでどうしても働けない方たちには、大変喜んでいただいているいます。

神戸市と食料支援団体の交流会においても、継続的な食料支援の必要性や幅広い支援の必要性を参加者間で共有しました。これを受けて今年度は、神戸市、食料支援団体、社会福祉協議会、人権活動弁護士等が連携する支援のネットワークができつつあります。

なお、助け合いネットでは、地域のNPO等の取り組みにつなぐこともあります。また、当団体の居住支援、学習支援、子ども食堂などでも、困窮者の課題解決に貢献しています。今後も、食料支援+敷居の低い相談窓口として、生活困窮者の支援を続けまいります。

**【寄付のお願い】**もし、ご家庭で食べきれない  
食料品等があれば活用させてください。  
(特に米が不足しています)



# 支援者募集！ あなたのお力を生かしてください

スタッフ 井上 綾子

生活支援は、「住み慣れた地域に安心して暮らすため、住民どうしで助け合う」という団体のミッションに基づく活動です。しかし、日々現場でどんな支援が行われているか、みなさんはイメージしにくいかもしれません。そこで今回、3つの事例をご紹介します。

## 在宅看護のご家族を支える

100歳の女性Aさんは、認知症で寝たきりです。支援を依頼されたご家族は、昼夜逆転したAさんを介護し、明け方によくウトウト眠る日々で、朝のゴミ出しができずにお困りでした。それでも「どうしても母を自宅で」と願うご家族に代わって、週2回のゴミ出し支援を行っています。ご家族は夜に玄関外にゴミを出し、支援者が朝に回収します。支援者はご家族にお顔を合わせることはありませんが、ご家族はいつも「ありがとう、どうか支援者さんによろしくお伝えください」と、感謝を伝えてくださっています。



## 週1回のおしゃべりが楽しみ

一人暮らしの男性Bさん宅に、支援者が毎週お掃除に通っています。せっせと手を動かしながら、その日の体調やご気分を伺い、Bさんのお話に明るく相槌を打って、一緒に和やかな時間を過ごします。Bさんは通所デイのご利用がなく、人と話す機会が少ないため、支援者の訪問を心待ちにしています。



Bさんの他にも、ゴミ出しや通院支援の合間に、おしゃべりを楽しみにしている利用者が多くおられます。利用者の気持ちに寄り添いながらのおしゃべりは、利用者の日々の暮らしに彩りを添え、気持ちを明るくする、大切な支援のひとつです。

## 高齢化する集合住宅を支える

個人からのご依頼に限らず、集合住宅のゴミステーションや階段の清掃、除草・植栽管理など、自治会からのご依頼が年々増えています。その背景には、住民の高齢化で、当番制だった掃除や草むしりに参加できない方が増えたことが考えられます。



「住民の方や子どもたちが『いつもありがとう』と声をかけてくれて嬉しい。謝金をお小遣いにできるのも、励みになります！」 そう笑顔で話す支援者が、今日も元気に支援に通っています。

これらの支援は難しい作業ではなく、お元気で、思いやりをもって人に接することができる方なら、どなたでもできます。人に喜ばれることがあなたの生きがいになり、心身の健康づくりにもなります。

あなたのお力と時間を生かして、支援者になってみませんか。



中学生の学習支援に取り組む大学生に聞きました。  
聞き手:村山 メイ子

### 本坂 楓さん 神戸大学3年生

ボランティアの動機は?  
困窮者の活動に関心があり  
経験を積んで視野を広げた  
かったから。人に寄り添う  
力を生かしたかったから。  
困窮者支援に関心を持ったきっかけは?  
中学生の時、学校に行きたくても行けない途  
上国の子どもたちがいることを知って衝撃を  
受けた。それで将来は困っている人の為に働  
きたいと思うようになった。  
助け合いネットを選んだきっかけは?  
ワラビーさんから、地域密着で困窮者やいろ  
んな人を支えている団体と聞いて興味を持  
ったから。  
自主的にやってみたいことはありますか?  
なんで勉強しないといけないの?と思ってい  
る子に勉強の楽しさと、それ以外にその子の  
持っている得意なことを見つけてあげたい。  
他に関心のある活動ありますか?  
今は忙しいけれど、4年生になると余裕がで  
きるので、居住支援の活動で、家さがしに困  
っている人の力になる活動をやってみたい。



### 国司田陽平さん 神戸大学1年生

ボランティアの動機は?  
今のところ、将来は中高の  
教師をめざしている。将来  
に役立つようなボランティ  
アを探していたら、ボラン  
ティアサークルの先輩が助  
け合いネットの学習支援を教えてくれた。  
学校の授業に到達していない子にしっかりと  
教えていきたい。  
どんな教師になりたいですか?  
問題児と言われる子を「ダメ」とひとくくり  
にするのではなく、一人一人の気持ちや個性を  
理解できる教師になりたい。  
教師って大変な仕事だと思いますが?  
大変だと思ってない訳ではないけれど、やり  
たいこともまたそこにあります。どこから  
辿ってみても、やっぱりそこに行き着くんで  
す。たぶん小6で読んだ本の影響だと思う。い  
つも先生に反発していた子が、やがて教員に  
なっていく内容だった。  
他に関心のある活動ありますか?  
今は考えてない。学習支援だけやっている団  
体と思っていたのに、幅広いことをやっている  
ので、これから見つけていきたい。



### 会員となってお支え下さい

私たちは、住民同士の助け合い活動を通じて、誰もが自  
分らしく暮らせるまちづくりをめざしています。活動の趣旨  
にご賛同いただき、資金面でのご支援をお願いします。

●正会員	個人	年間5,000円
●賛助会員	個人	年間3,000円
●賛助会員	団体	年間10,000円
●設立30周年 応援寄付	個人	3,000円以上
●子ども未来寄付	1,000円以上	でお願いし ます
●助け合い寄付		

【正会員】 組織の意思決定の議決権を持つ会員

【賛助会員】 資金面で支援していただく会員

【設立30周年応援寄付】記念行事と30年誌発行

【子ども未来寄付】子どもの成長を応援します

【助け合い寄付】法人の自主事業に充当します

### 会費・寄付の支払い方法

- ①事務局に直接お持ちいただけます。
- ②または下記に振込みをお願いします

◆振込先	郵便局
◆振替口座	01140-9-88648
◆名 称	東灘地域助け合いネットワーク

◆振込先	尼崎信用金庫
◆振替口座	029-0269738
◆名 称	特定非営利活動法人 東灘地域助け合いネットワーク

③ホームページからクレジットで寄付  
スマホは右のQRコード  
「寄付をする」から入れます



〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6-15-17

TEL: 078-843-4029 FAX: 078-842-2907

午前10時~午後6時 (日・水 祝 休み)

(URL) <https://hn-tasukeai.net>

(Mail) [info@hnw.or.jp](mailto:info@hnw.or.jp)

発行責任者: 村山メイ子